



# 東京芸術祭ファーム2022

## 制作アシスタント募集

[ 応募締切 2022年6月23日(木)17:00 (日本標準時) ]

### 国際的な舞台芸術の創作現場での経験を積んでみませんか？

「制作アシスタント」は、今後、国際的なフィールドで活動していきたいと考えている日本国内の舞台制作者が、国際的な作品やプロジェクトのマネジメント経験を積むプログラムです。参加者は、東京芸術祭ファーム Farm-Lab Exhibitionの制作チームとして、海外アーティストの招聘業務やさまざまなバックグラウンドをもつアーティストのクリエイションの現場で、制作補助業務を行います（有償）。

国際的な作品やプロジェクトのマネジメント経験を積みたい35歳以下の舞台芸術制作者を対象に参加者を公募します。（実施言語：日本語）

#### ▶こんな舞台芸術制作者にオススメ

- ・国際共同制作の現場で、招聘業務等の実務的な経験を積みたい方
- ・国際的なパフォーミングアーツ・フェスティバルに関わりたい方
- ・アジアのアーティストとのネットワーク構築に興味のある方

#### ▶オンライン説明会実施

2022年6月8日(水) 20:00～

- ・東京芸術祭YouTubeチャンネルにてライブ配信
- ・詳細は東京芸術祭Webサイト ([https://tokyo-festival.jp/tf\\_farm](https://tokyo-festival.jp/tf_farm)) にてご確認ください

| 東京芸術祭 Webサイト <https://tokyo-festival.jp>

主催：東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都〕

助成：令和4年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業  
協賛：アサヒグループジャパン株式会社



## 実施概要

### ■ 活動内容

- 東京芸術祭ファーム2022 Farm-Lab Exhibitionの制作補助業務に取り組みます（140時間程度で調整）。期間中は、主にFarm-Lab Exhibition制作スタッフのもとで業務にあたります。  
※具体的な担当内容は相談の上、決定します。※各プログラムについては【別紙】を確認してください。

担当プログラム	制作アシスタントの活動内容
東京芸術祭ファーム2022 Farm-Lab Exhibition  ・セリーナ・マギリュー チーム ・y/n（橋本清+山崎健太）チーム  ※クリエイションの現場には日⇄英通訳がつきます。	担当制作スタッフと連携しながら、海外アーティストの招聘、国際コラボレーション作品の創作・発表に関わる以下の制作補助業務を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外アーティストの来日サポート（ビザ申請、滞在場所セッティング、ピックアップ等）</li> <li>● オンライン/対面でのミーティングの参加、議事録作成</li> <li>● 参加者に配布するガイダンス資料の作成</li> <li>● 稽古場のセッティング（環境の整備）</li> <li>● 広報・宣伝</li> <li>● 予約管理</li> <li>● 公演会場（劇場）でのリハーサル・発表環境整備</li> <li>● 本番の表方業務（受付、場内誘導など）</li> <li>● 海外アーティストの帰国対応</li> </ul> ※業務を実施した日は活動報告として、日報を提出。

- その他、以下のような研修や交流の機会があります。
  - ・オリエンテーション、ラップアップ
  - ・東京芸術祭ファーム プログラム共通で実施する活動（全体顔合わせ、研修、交流会 等）
  - ・制作チームとの定期的なミーティング（活動内容についてのフィードバック、相談 等）
  - ・東京芸術祭2022のプログラムの鑑賞機会

## ■ 実施日程

2022年7月13日(水)～10月14日(金)

### ● 制作アシスタント 活動日程

内容	日程	実施会場
オリエンテーション	7月13日(水)16:00～18:00	オンライン (Zoom)
プログラムでの業務 (有償)	<b>7月18日(月・祝)～9月中旬：制作担当者調整の上、リモート業務</b> <b>9月26日(月)～：Farm-Lab Exhibitionの稽古、上演の現場で活動(別紙参照)</b>	
ラップアップ	10月14日(金)10:00～12:00	オンライン (Zoom)

※上記、活動日程以外にも、随時、Slack等で情報交換を実施します。

### ● 東京芸術祭ファーム2022 プログラム共通 活動日程

共通レクチャー 顔合わせ、交流会 等  ※詳細はオリエンテーションにて お知らせします。	8月2日(火)19:00～21:00 8月4日(木)19:00～21:00 8月8日(月)19:00～21:00 8月17日(水)18:30～21:00 8月22日(月)18:00～20:00 8月29日(月)時間未定 9月2日(金)時間未定 10月16日(日)時間未定	オンライン
--	--	-------

※上記の他、東京芸術祭のプログラムの鑑賞日程等については、参加者に後日案内します。

## ■ 活動場所

- オンライン (使用ツール：Zoom 等)
- 水天宮ピット (東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」より徒歩2分)
- 東京芸術劇場 アトリエイースト、アトリエウエスト (「池袋駅」西口より徒歩2分)

※活動内容によって、上記以外の場所で実施する場合があります。

東京芸術祭ファーム ラボは、さまざまな人が創造的な力を安心して発揮できるよう、「東京芸術祭ファーム ラボ ガイドライン」 ([https://tokyo-festival.jp/tf\\_farm](https://tokyo-festival.jp/tf_farm)) に則って運営されます。全ての参加者はこのガイドラインのもと、活動に参加していただきます。

# 募集概要

## ■ 応募資格

次の1～8のすべてにあてはまる方

1. 原則18歳～35歳 ※高校生不可。
2. これまでに、日本国内で舞台芸術の制作・制作補佐等で現場に関わった経験がある
3. 舞台芸術・文化芸術の分野で現在働いている、もしくは今後就業を考えている
4. 東京都内の稽古場・上演会場に通うことができる  
※宿泊費等のサポートはありません。
5. Farm-Lab Exhibitionの制作補助業務を7月18日(月)～10月10日(月・祝)までの期間で140時間程度行う事ができ、実施日程 (p. 2) 記載のオリエンテーション等の活動に全日参加できる  
※東京での滞在制作・上演期間 (9月26日(月)～10月10日(月・祝)) で活動ができない日程がある場合は、応募時に期間を明記してください。
6. 東京芸術祭ファームの広報およびPRに協力することができる
7. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる
  - セキュリティに問題がないインターネット接続環境
  - グループビデオ通話、動画閲覧、大容量ファイルのダウンロード等に十分に対応できるインターネット接続環境
  - Zoomのグループビデオ通話\*、Slack、miro、Google Drive、One Drive が利用できる端末 (使用ツールは参加者の状況やプログラム内容に応じて追加、変更となる可能性あり)  
\*Zoomの使用に必要なシステム要件：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
  - スマートフォンのみでの参加は非推奨
8. 東京芸術祭ファームの関係者と信頼関係を築きながら業務を遂行する意思がある

## ■ 謝金

アシスタント謝金：15万円 (税込)

## ■ サポート

- 交通費 (1日あたり上限1,000円)
- 保険加入 (費用はプログラム側が負担)

## ■ 募集人数

4名程度

## ■ 選考スケジュール

応募受付	<b>応募締切：2022年6月23日(木) 17:00 (日本標準時)</b> ・オンラインのフォームにて受付
一次選考：書類審査	結果発表：2022年6月28日(火)までにメールにて合否を通知 ・応募時の内容をもとに選考を実施
二次選考：面接	選考実施日：2022年6月29日(水)～30日(木) ・オンラインにて実施 (使用ツール：Zoomを予定)
採用者決定	結果発表：2022年7月5日(火)頃までにメールにて採否を通知

※採否に関わらず、選考の結果は応募者全員にメールで通知します。必ず、Farm-Lab オフィスからのメール (farm@tokyo-festival.jp) が受け取れるようパソコンや携帯電話の設定をご確認ください。

## ■ 応募方法

以下、応募フォームより必要事項を入力の上、送信してください。

応募フォーム <https://form.run/@pca2022>

### <必要事項>

1. 氏名
  - 自分に対して使用してほしい代名詞 等 (he、she、they、名前 等 / 自由記述)
2. 活動拠点 (都市名 / 複数ある方は全て)
3. 生年月日
4. メールアドレス
5. 連絡先住所
6. 日中連絡のつく電話番号
7. 職業 (所属 等)
8. これまでに制作業務を担当した作品やプロジェクト等 (最大5つ / 作品や業務内容等、詳細に教えてください)
9. 応募動機 (400字以内)
10. 「制作アシスタント」プログラム修了後の舞台芸術制作者としてのビジョン (400字以内)
11. 自身の英語でのコミュニケーション力 (選択式)
  - a. 簡単な自己紹介ができる
  - b. ある程度準備しておけば、自身の活動を説明することができる
  - c. 自身の専門分野において、議論のなかで考えや意見を述べることができる
  - 上記の回答に関する補足 (自由記述 / あれば)
12. オンラインミーティング等に使用する機材 (選択式)

※オンラインでの活動に必要な環境は「応募資格」(p. 3)を確認してください。
13. 参加に際して使用するネットワーク環境
14. 実施日程 (p. 2及び【別紙】参照) の内、参加ができない日程や活動ができない期間 (あれば)
15. 二次選考期間 6月29日(水)、6月30日(木)の内、面接に参加できない日時 (あれば)
16. 東京芸術祭ファームの他プログラムで応募を予定している、または応募済みのもの (あれば)

※同時募集している他プログラムへの併願は可能です。
17. 応募にあたっての連絡事項など

## ■ 留意事項

お預かりした個人情報は厳重に保管し、本企画に関する諸連絡以外に使用することはありません。

---

[お問い合わせ] Farm-Lab オフィス MAIL : farm@tokyo-festival.jp TEL : 03-4213-4293 (平日10時~19時)  
※記載の情報は2022(令和4)年6月1日現在のものです。内容等は変更になる場合がございます。

【別紙】

## 活動期間中に担当するプログラムについて

活動期間中は以下両方のプログラムで制作業務を行っていただきます。具体的な担当内容は相談の上、決定します。活動日程は下記の稽古・本番等日程を元に、2022年7月18日(月)～10月10日(月・祝)の間で140時間程度で調整いたします。

### ① 東京芸術祭ファーム2022 Farm-Lab Exhibition セリーナ・マギリユー チーム

マニラ（フィリピン）を拠点に活動するセリーナ・マギリユーが、「QUEER ASIA（クィア・アジア）」をコンセプトに、公募により決定した日本在住の出演者3名とパフォーマンス作品の創作トライアルを行います。

### ② 東京芸術祭ファーム2022 Farm-Lab Exhibition y/n（橋本清+山崎健太）チーム

橋本清と山崎健太による東京拠点のユニットy/nが、「教育」をテーマに、公募により決定した海外在住の出演者3名とパフォーマンス作品の創作トライアルを行います。

各チームの詳細は、以下より、出演者公募の募集要項もあわせてご参照ください。

[https://tokyo-festival.jp/tf\\_farm](https://tokyo-festival.jp/tf_farm)

### 【稽古・本番等日程】

活動内容	日程	実施会場
顔合わせ	8月4日(木)16:00～18:00	オンライン (使用ツール：Zoom)
オンライン稽古	①セリーナ・マギリユー チーム 8月17日(水)14:00～17:00 8月24日(水)14:00～17:00 8月31日(水)14:00～17:00 9月7日(水)14:00～17:00 9月14日(水)13:00～16:00 9月21日(水)13:00～16:00	
	②y/n（橋本清+山崎健太） チーム 8月9日(火)時間未定 8月12日(金)時間未定 8月18日(木)時間未定 9月6日(火)時間未定 9月13日(火)時間未定 9月20日(火)時間未定	
滞在制作	9月26日(月)～10月3日(月) 時間未定	水天宮ピット（東京）
パフォーマンス試作発表（一般公開） リハーサル、本番	10月4日(火)～10月9日(日) 時間未定	東京芸術劇場 アトリエイースト アトリエウエスト
ラップアップ / 修了式	10月10日(月・祝) 時間未定	東京芸術劇場 アトリエイースト アトリエウエスト

※制作アシスタントは、稽古・本番等の前後の時間にも業務を行っていただく場合がありますので予めご了承ください。

※記載の情報は2022(令和4)年6月1日現在のものです。内容等は変更になる場合がございます。

## 東京芸術祭ファーム 2022 テーマ 「都市をほぐす／Unlearning Cities」

### 「都市≠集い」

2022年の東京芸術祭ファームは「都市をほぐす／Unlearning Cities」をテーマに開催します。昨年のテーマ「都市の価値／Why Cities?」での“問いかけ”から、今年は〈都市=集い〉の価値観を捉え直す積極的な“行為”でありたいという思いを込めました。近年東京芸術祭ファームが取り組んできたオンラインを活用した国際的なプログラムの成果発表を見ても、オンラインの目的や役割が“情報や時間の共有”から“行為や体験の創出”へ変わっているのを実感します。集まらなくてもできることは今後ますます増え、これまでの価値観を手放すならば、もはや都市に集う必要は無い〈都市≠集い〉が前提なのかもしれません。それでも都市が果たせる役割は多様性の担保ではないでしょうか。受け入れる量ではなく幅によって誰もが存在し集まることができる機能には、これからの都市の可能性を感じています。

今年のプログラムでは、国際クリエイションのチームを2チームに増やしフィールドやバックグラウンドの異なるメンバーでの様々な協働の可能性にトライします。

2ヶ月にわたるオンラインアートキャンプはアジアから参加者を公募し、日本国内からは国際クリエイション現場のアシスタント・インターンや一部プログラムへのビジター参加も可能です。学生対象の教育普及プログラムにもご期待ください。そしてガイドラインに基づき、ハラスメントの防止やセーフスペース作り、舞台芸術の環境作りに取り組めます。

先の見えないまま進む2020年代、ならば見たい未来を自分たちで作る、東京芸術祭ファームはそのための場所です。ぜひ、お集まりください。

2022年6月  
東京芸術祭ファームディレクター 多田淳之介



### 新しい共存と協働の場へ向けて

常識（共通感覚、common sense）が大きく変わりつつあります。アートの現場に限っても、これまで当たり前だと思われていた感覚や考えが通用しなくなってきました。かつて有効だったやり方が、機能しないばかりか、害を与え始めています。それらはおそらくこれまでも無害だったわけではないのですが、なんとなく見過ごされていたのが、いまでは明らかに人を傷つけたり、何かを破壊するだけのものになっています。

こうした感覚の変化はパンデミック以前から始まっていました。それがこの2年半に及ぶ行動様式と価値観の根本的な「洗い直し」でより明確になったのだと思います。

この2年半の間にわたしたちが経験してきたのは、新しいことの学習というよりも、知らぬ間にすでに身につけてしまっていたものの「脱学習」、アンインストールだったのだといえます。これまで無自覚に、無批判に、享受し行使してきたものに、いったいどんな価値があったのか／なかったのか、いったん体から抜き、解きほぐし、検証し直す時間でした。そのうえであらためて、フェアで、みなさんの幸福につながるような集団創作や協働の形を、自分たちの手でどのようにして作るのか。他者との共存と交流の象徴としての都市を、どうやって再発見・再構築するのか（する必要があるのか?）。今年のテーマ「都市をほぐす／Unlearning Cities」に、わたしはそんな期待を込めています。

東京芸術祭ファームは、社会全体の大きな変わり目にあって、従来のやり方への違和感と変化への期待をもつ人が集まって、土を耕し、種を蒔き、苗を育てるための場です。われこそはと思う人はぜひ参加してください。

2022年6月  
東京芸術祭ファーム共同ディレクター 長島確



## コミュニケーションデザインについて

東京芸術祭ファームでは、国や文化等の異なるメンバーが集まる国際協働の現場において、その出自や立場に関わらず参加者全員が安心して創作に挑める環境を整えるため、企画の段階からコミュニケーションデザインチームがプログラム設計に関わっています。

2022 年度コミュニケーションデザインチーム

Art Translators Collective

チーフ：田村かのこ

メンバー：山田カイル、水野響、春川ゆうき、森本優芽、植田悠

<取り組みの一部>

### ■東京芸術祭ファーム ラボ ガイドラインの導入、整備

差別やハラスメントなどの人権侵害の発生を防止するためのガイドラインを制定し、東京芸術祭ファーム ラボに関わるすべての人にその遵守をお願いしています。また、ガイドラインの内容は毎年見直し、より良いガイドラインの制定に努めています。

### ■希望するジェンダー代名詞の確認、ジェンダーアイデンティティの尊重

ミスジェンダリング\*を防ぐため、昨年からの募集要項には自分が使って欲しい代名詞（代名詞を希望しない場合には名前等）を記述式で書き込めるようにしています。創作期間中も、それぞれの代名詞を尊重するために、知識と意識の共有を徹底していきます。

\*本人が自認するジェンダーと異なる取り扱いをする差別行為（例：見た目で性別を憶測して判断した人称代名詞や敬称を相手に用いる）

### ■言語やコミュニケーションの多様性を尊重したアート・トランスレーション

アジアの国々からの参加者が集まる東京芸術祭ファーム内でのコミュニケーションには、共通語として「英語」が用いられますが、土地や文化により英語のあり方も多様です。コミュニケーションデザインチームは、それぞれの話す英語を尊重し、英語が流暢な人もそうでない人も対等に話せるような環境を設計し、言語の変換にとどまらない通訳・翻訳を行います。また、文化の違い等によりコミュニケーションの取り方もさまざまです。一つの文化マナー（たとえば日本の常識）に人々を従わせるのではなく、それぞれの持ち寄る観点からこの場に必要コミュニケーションのあり方を探っていきます。

### ■学習機会の提供

以上の取り組み等について、参加者が事前に必要な知識をつけるためのガイダンスやレクチャー、ワークショップを実施します。

## 東京芸術祭ファームとは

東京芸術祭ファームは、東京芸術祭の人材育成と教育普及の枠組みです。アジアの若いアーティストの交流と成長のためのプラットフォームであった APAF（Asian Performing Arts Farm）にフェスティバル/トーキョー（F/T）の研究開発・教育普及事業が合流し 2021 年にスタートしました。

今年の東京芸術祭ファームは、研究開発を通じた人材育成のための「ラボ」と、教育普及のための「スクール」の2つのカテゴリーでさまざまなプログラムを実施します。「ラボ」では、他者と協働しながら地域や分野を超えた「トランスフィールド」を開拓し、今後ますます流動的になるさまざまなボーダーを自由に行き来して活躍する人材の育成を目指します。「スクール」では、大学生を中心とした若い観客を対象に、レクチャーの受講やトークイベントへの参加、レポート執筆など、舞台作品を通して、考え、交流する機会を提供します。

東京芸術祭ファーム 2022 ページはこちら [https://tokyo-festival.jp/tf\\_farm](https://tokyo-festival.jp/tf_farm)